

観光拠点を守る砂防事業

富士尾沢川 安曇野市 豊里

土砂災害の危険と隣り合わせの地域

富士尾沢川の上流域は、花崗岩の風化が進行した土砂生産源となっています。平成16年10月の台風23号による豪雨では大量の土砂が流出し、下流域の豊里地区での浸水被害の原因となりました。

平成16年土石流災害



土石流発生



河道満砂



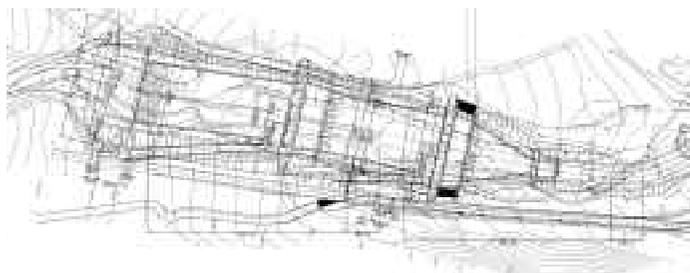
下流では被害発生

砂防施設が地域をしっかりと守ります

地域の安全・安心や県下屈指の観光地「安曇野」を守るため、平成19年度より砂防施設整備に着手し、平成25年度に完成しました。

平成25年対策工事の内容
堆積工 1基 床固め工 3基
L=230.1m W=24.5m

平成25年対策工事完成



観光拠点を守る砂防事業 整備効果事例

安曇野建設事務所

連携のとれた砂防事業等の実施



砂防流路工の整備（平成2年度）



堆積工の設置（平成25年度）



治山事業の実施（林務部）

砂防事業による主な整備効果

観光地をまもる

県下屈指の観光地をまもり、地域活力の創出に貢献します。



しゃくなげの湯は、オープン以来
休日1200人、平日700人が利用



温泉公園はふるさと砂防事業で整備



八面大王足湯は利用
無料の人気スポット

穂高温泉郷への
年間観光客数
115万人(H25)
↓
150万人(H26)



アルプスあずみのセンチュリーライドは
毎年1500人が参加する人気イベント



県道塩尻鍋割穂高線はサイク
リングに人気の観光路線

地域をまもる

安全・安心を確保し、魅力ある地域環境をまもります。

下流の豊里区では人口が増加

安全・安心の子育て環境の創出
(中学生以下の人数が増加)



平成20年度
85人

平成25年度
129人

約50%増

